

布製パペットを寄贈

美深高養生が幼児センに

【美深】美深高等養護学校（大泉真哉校長）の被服デザイン科3年生が、16日午前10時に美深町幼児センター（井川健センター）を訪れ、フタをモチーフに手作りした布製パペットを寄贈した。

同科では、同センターの子どもたちに向けて、おもちゃを作ろうと4月から作業をスタートし、実習で製作



手作りのパペットを受け取る子どもたち



製作に当たった被服デザイン科3年生たち

い姿をモチーフにした布製のパペットを完成させた。

同科3年生の代表4人が同センターを訪れ、子どもたちに手作りのパペットを手渡すと、子どもたちは大いに喜んでいた。

生徒たちは「子どもたちのことを思いながら一生懸命に作りました。喜んでくれてよかったです。子どもたちの笑顔を見て、また作りたい気持ちになりました」などと語っていた。

（中村）